

プレスリリース

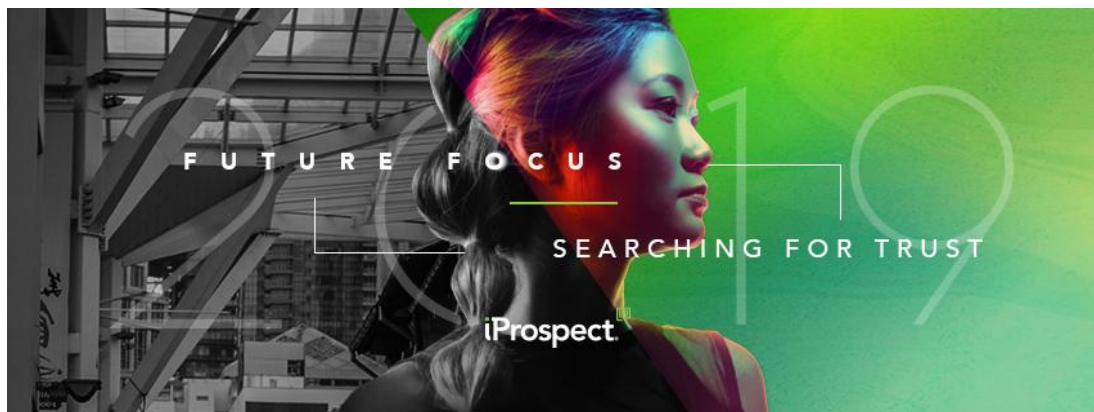
報道関係者各位

iProspect、マーケティングビジネスとそのトレンド予測に関するグローバル ホワイトペーパー「Future Focus 2019」を発表

**- 88%のマーケターが 2019 年最優先するのは「信頼」と回答！消費者の約 6 割は
テクノロジーの進化が早すぎる・商品の選択肢が多すぎると回答し、
テクノロジー過多・情報過多なデジタルエコノミーの実態が明らかに -**

iProspect Japan (アイプロスペクト・ジャパン株式会社、CEO：金井 耕一、所在地：東京都中央区)はグローバルなネットワークの優位性を活用し、マーケティングビジネスとそのトレンドを分析し予測した「Future Focus 2019」を発表いたしました。

「Future Focus 2019」は、2018年にiProspectがグローバルでFTSE100やフォーチュン500など幅広いクライアント企業の300を超える世界のマーケターやリーダーにインタビューを行い、2019年に彼らの事業が直面する重要課題と、急速に変化し大きな期待を集めるデジタルエコノミーで成長しつづけるための優先事項を集め、分析いたしました。本年度、最も注目すべきトピックとして挙げられるのは、実に88%のマーケターが最優先事項として挙げた消費者との「信頼」の築き方と、加速度的にイノベーションが起き続ける現代のデジタルエコノミーにおいて生まれる、消費者にとっての情報過多・テクノロジー過多に対する「戸惑い」です。



■ 様々なデータが溢れ混沌とする現代、デジタルエコノミーにおける成功の鍵は「信頼」

2019年のデジタルエコノミーにおいてデータは通貨であり、確かな証明・真実でもあります。しかし、フェイクニュースやボットに関する様々な事象など、データは今までにないほど複雑性を増しているのも事実です。この度の「Future Focus 2019」における調査によって、信頼とは課題の一つではなく、まさに今日におけるブランドやパブリッシャーにとっての課題そのものであることが分かりました。2019年のデジタルエコノミーで成功のカギとなるのは、ブランドが消費者と独自の関係性を築き真実や信頼という概念を重要視することであり、実際に多くのマーケターが切実にその必要性を感じていることが分かりました。

今回の調査で、70%のCMO(チーフ・マーケティング・オフィサー)が顧客との長期に及ぶ関係性を築くことがビジネスの成長をサポートするカギであると答えています。事実、他人を信頼出来ると答えたのは僅か25%ほどの回答者であり、メディアが報道するニュースが真実と虚構を区別することに役立っていると感じている

人は約 40%に留まっています。また、組織への信頼やビジネスへの信頼も低下の一途を辿るなど、世界的に世の中から「信頼」が失われている実態があります。

「Future Focus 2019」では、これまでになく混沌とした時代にデジタルがもたらす「信頼」への影響、そして私たち自身への影響を探求しました。ブランドが消費者との関係値を深めるために、どのようにデジタルマーケティングを活用できるのかを表す「信頼」の計算式を下記のように定義しました。

TRUST = CREDIBILITY + RELEVANCE + RELIABILITY

■消費者が感じる「戸惑い」 - テクノロジーの早すぎる進歩と情報過多なデジタルエコノミーで麻痺している顧客の実態

あまりに多くの選択肢を与えられると、人は麻痺してしまいがちです。54%の人々が、日々の生活における選択肢多さに圧倒されていると回答しています。これはブランドにとって考えれば、顧客が決断に関し圧倒され、選択自体を諦めるか後々後悔する選択をしてしまう可能性を示唆しています。特にデジタルの分野において、マーケターは顧客への妥当性・関連性のある体験をデザインできるよう、この事実を十分に考察する必要があります。KPI のためではなく、人のためにコミュニケーションをデザインすることが重要なのです。

より詳細な「Future Focus 2019」本編(英語版)は下記特設サイトにてダウンロードが可能です。

<https://www.iprospect.com/en/jp/press-room/future-focus-2019/>

iProspect (アイプロスペクト)について

iProspect はアディダス、アコーホテルズ、スタンダードチャータード銀行、ゼネラルモーターズ、ペイパル、マイクロソフトなど、世界的クライアント企業のオンラインマーケティングの投資収益率最大化をサポートし、数々の賞を受賞しているデジタルパフォーマンス・マーケティングエージェンシーです。英国に本拠地を置き世界 55 カ国、93 のオフィスで勤務する 4300 人のネットワークで構成された iProspect チームがグローバルに活躍しています。iProspect は電通グループのグローバルエージェンシー・ネットワークである電通イージス・ネットワークに属しており、iProspect の日本法人であるアイプロスペクト・ジャパンは 2003 年に設立されました。

■iProspect Japan (アイプロスペクト・ジャパン) の概要

会社名 : iProspect Japan (アイプロスペクト・ジャパン株式会社)

代表者 : CEO 金井 耕一

所在地 : 東京都中央区銀座 6-18-2 野村不動産銀座ビル 12F

設立 : 2003 年 12 月

URL : <https://www.iprospect.com/en/jp/>